

東京蜘蛛談話会 2014 年度採集観察会

1. 期 日： 第1回2014年 5月11日(日) 第2回2014年7月13日(日)
第3回2014年10月19日(日) 第4回2015年2月15日(日)
(第1回をホームページ上では5月18日と案内していました。両日とも行いますので、
ご都合の良い日にご参加下さい・・・池田より)
2. 場 所： 神奈川県藤沢市 新林(しんばやし)公園
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/koen/data06777.shtml>
午前中は公園内平地、午後は林内自然散策路
3. 集 合： 集合10:00 藤沢駅南口バス乗り場①
藤沢駅南口乗場①「桔梗山行き」行き10:15発に乗車。ひとつめのバス停
「富士見ヶ丘」下車(170円)。そこから徒歩5分。乗り遅れると他の乗場
から鎌倉・手広方面行のバスに乗ることになります。富士見ヶ丘経由のバス
はたくさんありますがバス停から新林公園までは路地を歩いて行く必要が
あり分かり難いです。案内板もありません。
4. 世話人： 池田博明 携帯電話：090-9670-1525

東京蜘蛛談話会 2014 年度合宿

2014年度の合宿は、茨城県潮来市近辺で実施の予定です。詳細および申し込みについては、後日、臨時通信でお知らせいたします。

1. 期 日： 2014年7月26日(土)から28日(月)
2. 担 当： 加藤輝代子

東京蜘蛛談話会の会費は、一般3800円、学生2000円です。

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会費のことは：会計担当 須黒達巳

〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-39-6

TEL：080-5683-2765 E-mail: t.s.schlegelii@gmail.com

東京蜘蛛談話会例会総会

2014年4月20日 東京環境工科専門学校にて

参加者一同



(1) 徘徊性のクモはいつ進化したのか

池田博明



(2) クモの話題2つ

小野展嗣



(3) 種子島にはキムラグモが2種いる

谷川明男



(4) ナゲナワの起源

谷川明男
新海明
宮下直



(5) 泥沼の三角関係—今明かされる真のパートナー—

須黒達巳



(6) 生物多様性関連リストの蜘蛛類

萩野康則



2013 年度決算

東京蜘蛛談話会

収入の部

2014 年 4 月 20 日

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会費	674,000	欄外 1
内訳 a.13 年度会費	230,400	
b.14 年度以降前納会費	443,600	
2.寄付	0	
3.別刷り代	13,950	
4.利息	766	
5.その他		
収入合計	688,716	
6.繰越金		
(1)13 年度以降前納会費	475,800	
内訳 a.13 年度分	396,000	
b.14 年度分	41,800	
c.15 年度分	19,000	
d.16 年度分	15,200	
e.17 年度分	3,800	
(2)特別会計 (プール金)	3,249,572	
繰越金合計	3,725,372	
合計	4,414,088	

支出の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会誌作成	311,079	103,104 号
2.会誌発送	30,880	
3.別刷り作成・発送	28,157	
4.談話会通信	71,226	138,139,140 号
5.事務局等通信費	40,140	
6.事務用品等	10,395	
7.予備費	0	
支出合計	503,902	
8.繰越金		
(1)14 年度以降の前納会費	523,400	
内訳 a.14 年度分	413,200	
b.15 年度分	76,000	
c.16 年度分	26,600	
d.17 年度分	7,600	
(2)特別会計 (プール金)	3,386,786	
繰越金合計	3,910,186	
合計	4,414,088	

繰越金の預け先：郵便貯金（普通）	¥3,755,781
振替口座	¥48,150
現金	¥106,255
合計	¥3,910,186

欄外 1：13 年度会費は、前納分 396,000 円とあわせて 626,400 円受領しました。
 以上、報告いたします。2014 年 3 月 31 日 会計 須黒達巳
 適切に会計処理されています。2014 年 4 月 16 日 会計監査 加藤輝代子

追悼：小沢實樹さん
満天の星とニューヨークのショットバーのマスター

新海 明

私が東京クモ談話会の合宿に初めて参加したのは愛知県足助だった。1989年のことである。それからはほぼ毎年欠かさずに参加するようになった。

翌年は長野県の白馬村で合宿が行われた。私は、この頃に高校の教員を辞めて、とある塾の講師となっていた。塾の仕事を終えて、かつて勤務していた高校の卒業生のクラス会に出席したあと、新宿から夜行電車に乗って白馬に向かった。白馬駅で下車して案内書に沿って宿舎に向かっていると、車にお子さんを乗せた池田さんと出会った。早朝の宿舎に到着するとロビーの長椅子に小澤さんが寝ていた。聞くと相部屋の加藤宏保さん（輝代子さんの旦那さん）の鼾がうるさくて寝られず、ここに避難したとのこと。私も千葉の清澄山の宿舎で、加藤さんの鼾はいつも経験していたので合点があった。そして、いつものように朝から晩まで白馬村の各地をクモ採集に明け暮れた。夕食後、夜間観察会となるのは、今と同じだ。

山あいの谷間にかかる橋の上で電気を消して佇む数人の人影があった。小澤さんや中島さんたちだった。流れ星を見ているのだという。私も懐中電灯をオフにして、これに加わった。夜空に無数の星がまたたいていた。このときの感動を「白馬とクモと流れ星」という合宿の報告に認めた。中島さんは『合宿では正真正銘の「夜」と出会えるのです。「夜」の息づかい、「夜」の匂い、「夜」の声、「夜」の色・・・ひんやりとした夜の流れに、自分を浸し、解いて洗うことのできる最高の時間』と記した。今は亡きお二人と探蛛の合間に「夜」の観察会をした貴重な思い出であった。

その翌年の裏磐梯の合宿にもお二人は参加されていた。このとき小澤さんはカバキコマチグモの葉っぱの巻き方を観察していた。紡いだ糸の張力で次第に葉が曲げられていく様子を事細かく調べてキシダイアに報告されている。そしてこのとき、ニューヨークのショットバーのマスターとの出会いがあったのだ。ヨツボシワシグモ *Kisidaia albimaculata* を見つけた加藤さんが皆を集めたとき、小澤さんの発した一言がこれだった。「黒のタキシードを着てその下に真っ白なワイシャツがのぞくバーテンダーを連想した」のは私だけではなかろう。言いえて妙であった。アーティスト「小沢實樹」氏を垣間見た瞬間でもあった。

2014年2月5日。お通夜の席で、私は霊廟の壁際で小澤さんの遺影をしげしげと見続けた。私にとって小澤さんはクモ愛好家の「小澤さん」だったのだ。しかし、遺影を取り巻く献花を見る限り小澤さんは美大の教授であり、デザイン作家であったのだ。考えてみれば当たり前なのだが、私には遠い届かない存在のように感じられた。

談話会の総会などで、小澤さんは自己紹介で「今日は、若い男子が多く出席していて興奮しますね。何しろ、いつも女子ばかり見ているもので・・・」などと皆を笑わせていた。そして、「明さんの描く網の絵はすごいね。よく見ているなあ」と声をかけて下さっ

た。失礼を承知で言うなら、お会いしたときはいつも「クモ好きの隣のおじさん」だったのだ。

病に倒れたとの情報は梅林さんから度々伺っていた。「見舞いに行ったが、意識はないようだ」とのことで、ことの重大性を認識しつつも、ついにお見舞いには行けなかったことが心残りである。

パニック映画紹介 ヒヨケムシが跳ぶ！

池田博明

廉価版 480 円のガレッジ・セール の DVD で、製作総指揮が B 級映画の雄ロジャー・コーマン、監督がジム・ウィノースキー、脚本がウィーノースキーと J・ブラッド・ウィルケの 2011 年 USA 映画「スパイダー・パニック 2012」（発売元ジャスティ）を見かけた。ケースの写真をみると、原題は「Camel Spiders」。ん？ クモではなく、ヒヨケムシが主役のパニック・ムービーである。物珍しさから購入してしまった。84 分。

冒頭はアフガニスタンでタリバンとの激しい戦闘中の米軍。突然、体長 30cm のヒヨケムシの大群に襲われてタリバンの攻撃が止んでしまった。不審がる米兵たちに現地に詳しい兵士は「ビシュビシュ（砂の悪魔）」というクモのせいだと説明する。仲間の伍長が撃たれて死亡し、自らも傷を負ったスタージェス大尉（ブライアン・クラウド）は前線を撤退して、伍長の遺体とともに故郷に帰ることになる。伍長の遺体を乗せた武器輸送車を運転するのは女性軍曹（メリッサ・ブラッセリー）。輸送の途中のアリゾナの砂漠で、保安官（C. トーマス・ハウエル）に追われた逃走車が輸送車の横に衝突した拍子に、棺桶が外に飛び出し、侵入していたヒヨケムシが蓋の隙間から逃げ出した。しかし、大尉と軍曹はその異変に気付かなかった。30cm 以上もある凶暴なヒヨケムシは次々に出逢った人々を見境なしに襲っていく。ヒヨケムシが数分後には大群になってしまうのは生物学的に奇妙だが、その辺は目をつるう。

アッという間に拡散してしまうヒヨケムシに大学の生物学の教授もなすすべもなく



襲われて即死，研修中の学生たちも空き家に追い詰められる．生き残って翌朝，車まで逃げ切った学生三人のうち，車のフロントに隠れていたヒヨケムシに殺されてしまった男性はさておき，残った二人の女子学生がどうなったのかは物語られない．この学生はラストに無人の映画館で上映されていたパニック・ムービーの登場人物だったというオチかもしれないが，はっきりしない．携帯アプリの百科事典で男子学生が怪物を同定し，字幕では生物名が「ラクダグモ」と出ます．ヒヨケムシはコンピュータ・グラフィック．主たる対ヒヨケムシ戦闘が開始されるのは，リーバ（ジジ・ブルネッタ）とジョー（カート・ヤンガー）が経営する砂漠のなかの簡易食堂である．保安官の案内で偶然この食堂に立ち寄った大尉と軍曹は，突然ヒヨケムシに襲われた客たちを輸送車に載せて脱出を図ることになる．一時的に地あげで空っぽの廃工場に避難したものの，そこにも次第にヒヨケムシが接近，侵入してくる．離婚したばかりの夫婦と娘，食堂や土地を買い取ろうとする不動産業者，銃を嫌う平和主義者，店の店長夫婦と女性従業員など，素人をたばねて大尉と軍曹はリーダーシップを発揮し，ヒヨケムシの大群と戦う．しかし，善人も悪人もどんどん犠牲になってしまう．ヒヨケムシに情けはないのだ．

ヒヨケムシが前肢を振り上げて威嚇誇示行動をする様子が見られる．その後，映画では必ずヒトの顔を襲撃してくるのですが，実際のヒヨケムシはヒトに対する毒はないし，大きさも数ミリから 10cm 程度，最大でも 15cm だという．資料には 8 インチ (24cm) 以上でfrisbeeと同じくらいのサイズという記述もある．1000 種以上も記載されているらしい．また，3 フィート (10cm) ほどジャンプするという．動きは非常に早くて時速 16km にもなり，強力な顎によって獲物の外皮や肉を食い千切り，出血多量で弱らせてから捕食するという．残虐なイメージから，こんなパニック・ムービーも作られることになったのだ．

映画としての評価は CG が陳腐とか，物語がありきたりとか，登場人物のキャラクターに深みが足りないとか，低いコメントが並ぶ．大尉と軍曹がどんな状況にあっても冷静さを失わずに協力して戦うコマンドを演じていて，この二人が完璧なヒーロー．軍人精神を教育する映画を感じさせる仕上がりになっている．「いやな感じ」である．とはいえ，凶暴なヒヨケムシが大活躍する珍しい映画なので，アラクノロジストとしては話のタネに見ておいてもよい作品かもしれない．

入退会は：事務局 初芝伸吾 〒186-0002 東京都国立市 3-10-8

コンフィデンス高垣 105 有限会社エコシス

E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先：谷川明男 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416

E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

通信の原稿締め切りは，4 月総会まで，8 月末，12 月末です．

巨大化した蜘蛛が町民を襲う 『スパイダー・パニック』

池田博明

日本で『スパイダー・パニック』と名付けられた作品の第一作は、2002年製作の『Eight Legged Freaks』（八本脚の怪物）という99分のアメリカ映画。製作総指揮は『インデペンデンス・デイ』のローランド・エメリッヒ、原案・脚本・監督がエロリー・エルカウムで、ワーナー・ブラザーズ製作の大作である。

ラジオのDJハーラン（ダグ・E・ダグ）が景気よく話している。エイリアンの侵略を予告する語りである。ラジオに耳を傾けていたトラックの運転手は道路上のウサギを避けて、ハンドルを切った瞬間に積荷のドラム缶を1個、道路脇の湖に落としてしまった。どうもドラム缶には有毒廃棄物が含まれていたらしい。湖でカゲロウを採った老人ジョシュア（トム・ノーナン）は飼育中のクモの餌にちょうどいいと、ほくそ笑む。

事故から一週間後、変人として知られているジョシュアのもとに、中学生のマイク（スコット・テラ）が訪ねて来る。蜘蛛を二百匹も飼っているジョシュアにマイクは憧れているのである。ジョシュアはタランチュラやハエトリグモ（*Habronattus* だという説明がある）を見せ、小さな「コガネグモ」のオスは大きなメスに獲物をプレゼントすると説明する。このコガネグモは岩場に住み、網を張らない様子で餌を捕食している奇妙な習性である。マイクが用事で帰宅した後、ジョシュアはタランチュラが飼育箱から逃走したことに気づく。蜘蛛を探すジョシュアは気づかないのだが実は蜘蛛は彼の背中に

いた。後ろの首筋を咬まれたジョシュアは苦悶し絶命する。倒された飼育箱のなかから蜘蛛は脱走する。蜘蛛は化学物質のために巨大な体へ成長してしまったようだ。

マイクのママ、サム・パーカー（カーリー・ワラー）は保安官。サムは変人ジョシュアのところに行ってはダメとマイクを禁足する。バイクで暴走する青年たちのなかにサムの高校生の娘アシュリー（スカーレット・ヨハンソン）もいた。危険運転で青年たちに違反罰金のチケットを切ったサムは娘を連れ帰る。

二週間は一見何事もなく過ぎた。マイクはジョシュアの姿を見ていない。一方、町長（レオン・リッピー）は町民に土地を売り払うよう薦めている。昔あった鉱脈もいまでは掘り



尽くして空っぽ。なんの産業もなく町はさびれる一方である。舞台はアリゾナに設定されている。黄金が眠る鉱脈もあるという伝説がある。亡き父親の炭鉱会社の復活を目的に故郷に戻ってきたクリス（ディビッド・アークエット）は、叔母グラディスのもとに身を寄せながら古い炭鉱を掘っていた。近所では、警察官のピートの妻エマの猫がクモに食われてしまったり、水を噴射させながら掘削していた鉱夫が詰まったホースを吸うと口のなかにたくさんのクモが入って来て食われてしまったり、オートバイ仲間が巨大蜘蛛に襲われる事件が起こる。

大きなクモは体長が 2m もあり、三段跳びのようなジャンプをして、ヒトに襲いかかる。バイクを走らせて、やっとの思いで逃げた青年ブレット（マット・チュクリー）は坑道へ入るが、坑道も安全な場所ではなかった。マイクから蜘蛛の脚の脱皮殻を見せられ、巨大な蜘蛛の話を聞いたクリスは最初は信じなかったが、叔母のグラディス（アイリーン・ライアン）が行方不明になり、地下室が蜘蛛の網だらけになっているのを目撃、サムも娘が巨大蜘蛛に襲撃されるのを見て、事態の異常さに気づく。DJ ハーランのトレーラー放送局から町民に異常を知らせたサムは、分厚い鉄板ゲートのあるプロスペリティ・モールへの避難を呼びかける。飼育していたダチョウが襲われても危険に気づかなかった町長も、やがて緊急事態を知ることになる。小さなクモ博士のマイクは巨大蜘蛛に見とれて「ジャンプするハエトリグモだ！」などと感動しつつも、多くの種類が夜行性であり、音に敏感であることを指摘して、町民に冷静な行動を呼びかける。

蜘蛛を退治する方法は銃である。撃たれた蜘蛛は緑色の体液を出して絶命する。クリスは屋上のアンテナから携帯電話で近くの警察に救助を要請する。しかし、相手に信じてもらえないようだ。援護射撃を引き受けた DJ のハーランが決死の覚悟でおとりになって蜘蛛をひきつける。巨大化した女王のクモは鉄板を打ち破って、穴を開けるとまずたくさんの子グモを送り込んで来た。絶対絶命、坑道へ逃げ込む町民。町長は自分だけ先にこっそり坑道に逃げ込んでいた。彼は坑道に潜んでいたクモの糸に巻かれてしまう。クリスはサムに秘めていた愛情を告白しようとする。サムは既にクリスの父親からクリスの真意を聞いていた。発電機を利用して、坑道に集まっているクモを爆破することを考えたクリスは、その前に糸で巻かれた叔母グラディスをなんとか救出しようとする。首尾よく人々は救出されるのだろうか。ギリギリまで決死の戦いが続く。

10 歳から映画に出演、やがてウッディ・アレンの映画『マッチポイント』（2005）や『タロットカード殺人事件』（2006）のヒロインとなるスカーレット・ヨハンソンの第 10 作。彼女はこの映画の当時 18 歳。

KISHIDAIA 原稿投稿先：池田博明 258-0018 足柄上郡大井町金手 1099

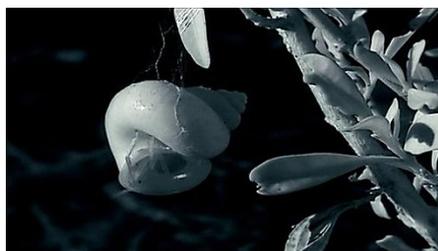
E-mail : fwg9084@mb.infoweb.ne.jp

キシダイアの原稿締め切りは、6 月末日と 12 月末日です。

BBC Earth News に紹介されたクモ

池田博明

日本テレビ土曜夜の「世界一受けたい授業」を見ていたら、クモが登場した。2014年1月18日のことである。1時限目「生物」で講師は新宅広二氏、生き物の知恵を紹介する内容で十分ほどの間に3種類のクモが紹介された。テントウムシに擬態したツシマトリノフンダマシ、カタツムリの殻を吊り上げて中に潜むクモの一種、水中に住むミズグモである。メインはBBCが撮影したというカタツムリの殻を吊るクモで、番組に学名 *Olios coenobitus* が紹介されたので、さっそくウェブで検索してみると、BBC Earth News (英文) にマダガスカルのアシダカグモの一種で、アッテンボローの番組の取材で吊り上げ行動の一部始終が撮影されたという記事が出ていた。クモは自分の体重の20倍もの殻を1時間以上もかかって吊り上げるそうである (Davies, 2011)。



吊り上げられたカタツムリの殻

ところで、このBBC Earth Newsにはクモに関する様々なトピックが紹介されていた。英国蜘蛛学会のウェブには、クモのトピック情報にリンクが張ってあるが、それと比べて、専門的でない話題の取り上げ方をしていた。例えば、「マダガスカルで最大の網を張るクモが発見された」「ガケジグモの一種の子グモの母親食いと振動行動」「性的共食いをするメスにとってオス不味い」などなど。それぞれについて簡単に紹介しておこう。

「マダガスカルで最大の網を張るクモ」はダーウィン樹皮蜘蛛 Darwin's bark spider で、学名は *Caerostris darwini*、水面上にやや傾いた垂直円網を張るが橋糸は25mにもなるそうである。カゲロウが25匹もラップされずに網にかかっていることや、網に補修のあとがなかったり、大きな穴が開いたままになっていることから推定すると網の張替えは数日間に行われないようだ (Walker, 2010b)。



河の上に張られた
ダーウィン樹皮蜘蛛の円網

「ガケジグモの一種 *Amaurobius ferox*」は、欧州と北米に分布するクモだが、韓国の Kill Won Kim は飼育下で子グモの母親食いと子グモの集団行動を観察した。母グモはクラッチ当たり60~130匹の子グモを産卵し、子グモに卵食させるが、最終的には自分の体を与える。母親の死後、子グモは3~4週間



研究者と円網の
大きさ比較



集団になったガケジグモの一種の子グモたち



母グモを食べに集る子グモ (ビデオ映像)



Hogna のメスがオスをアタックする

は共同巣で一緒に暮らす。この期間に子グモたちは共同捕獲行動を行い、自分たちより 20 倍も大型の餌も倒す。母親を食べた後、集団になった子グモは同時に体を収縮させて網に大きな振動を起こす。この網をゆする行動は母親捕食 4 日後に最も頻度が高かった。それ以降になると次第に見られなくなる。ピーク時には子グモの 60% がこの行動に参加していた。捕食者に対する防衛行動と思われる。論文は *Insects Sociaux* に掲載されているという (Walker 2010a)。日本のセスジガケジグモの社会性研究にも参考になる事項ではないだろうか。

「性的共食いの動機」に関しては、同種のクモを捕食することによって必須栄養素を効率的に獲得できるからだという仮説がある。この仮説を検証しようと、マイアミ大学の Wilder and Rypstra がコモリグモの一種 *Hogna helluo* を用いて実験を行った。メスにコオロギと同種のオスを捕食させて、それぞれの取り込み量を比較したのである。その結果、コオロギの場合は生物量の 72% が捕食されたが、オスの場合には 51% だった。脂質量を比べると、コオロギの体の 20% が脂質だったが、オスの場合にはたった 5% である。実験結果は、メスは産卵のために多量の脂質が必要なのに、オス捕食から得られる脂質はわずかで

しかないことを示した。どんな餌でも食べないよりはいいのだろうと研究者は解釈している。論文は *Oecologia* に掲載されているという (Walker 2009)。

今後もこの News には注目してみてもよいかもしれない。

引用資料 (ウェブ上)

Davies, E. 2011. Madagascar's elusive shell-aquating spider filmed. BBC Earth News.

Walker, M. 2009. Female cannibalistic spiders find males distasteful. BBC E.N.

Walker, M. 2010a. Baby cannibal spider gang makes web vibrate in time. BBC E.N.

Walker, M. 2010b. Gigantic spider's web discovered in Madagascar. BBC E.N.

蜘蛛 クモ くもの糸

加藤康子

一昨年夏、我が家にやってきたコガネグモが、松の木の枝に卵のうをつけた。中から百匹以上の子供達が生まれ、やがて風に乗ってどこかへ飛びたっていった。私は残された卵のうを取り 引出しの中にしまいながら、去年の夏は、きっと庭のそこかしこにコガネグモの姿を見ることができると期待していた。しかし、春が過ぎ夏になっても、コガネグモの網は庭にかけられなかった。バルーニングのころの風向きを考え、近くの林や遊歩道を歩いてみたが、探し方が悪いのかみつかるのはジョロウグモやオニグモばかり。

落胆していたが、ある日、野菜を植えたプランターと壁の隙間をなにげなく覗くと、一匹のコガネグモがいるではないか。

「やっぱり！ 家にいたんだね」

けれども 喜んだのは束の間のこと、体は小さく元気がない。しっかりと足も伸ばしていないし、かくれ帯も作っていなかった。ゆすり蚊を投げ込んでも反応は弱く、とびかかる気配もない。照り返しの強い壁ぎわでは暑いし虫もかかりにくいだろう、「貴重な たった一匹。」なんとか元気にしたいと木陰に移してやったら、次の日には小さな網が作られて簡単なかくれ帯らしきものも編まれていた。

どうか、母親のように大きく強いコガネグモに成長して欲しい。母親はとても生命力旺盛で、網は大きく、かくれ帯もびっしりと目の細かい充実したものを編んでいたものだ。私は、ストレスを与えないようにガラス越しに見守ることにした。コガネグモらしく二本づつにそろえた足も伸ばし、腹部の縞の黒と黄色はパウダリーで派手すぎず美しい。見守る楽しみはずっと続きそうに思えた。

しかし、残念なことに、このクモとの縁は薄かった。

数日後、午前中は枝の間に確かにいた。昼近くに通り雨が一時激しく降ったりしたが、午後見たら姿が見えなくなっていた。網は破れていないので、何かに襲われたのではないと思う。短い時間にどんなことが起こったというのだろうか。相手はクモだから返事するわけは無いのに、つい声を出して、

「コガネグモ、コガネグモ」

と呼んでしまった。目を凝らして土の上をくまなく見つめ、草をかき分けて手がかりを探したが、どこにもコガネグモを見つけることはできなかった。バルーニングができずにこの庭に残っていたのだから、多分、体力も無かったということだろう。クモ一匹が消え去って、もやもやと腑に落ちない気持ちだけが残った。庭には、他に足長グモやジョロウグモがそれぞれに特徴のある網をかけて暮らしている。カナヘビは土くれの間を走りまわり、雨戸の戸袋の中にはヤモリだって住んでいるが、私とコガネグモの儂い出会いのことなど気にするものはだれもない。

小さいとか可愛いというだけでも、私達は動物や虫達を容易に好きになってしまう。けれども、彼らは人間よりもずっと短い生命を自然界の掟や運命にしばられて生きてい

る。なかには、進化によって強められた適性で巧みな処生術を持ったものもいるが、彼らが十分に寿命を全うできる保障はどこにも無い。もしも、飼いならされていない野性の生物を身近において観察できる幸運を得たら、私達は、卵から、あるいは新生の時から見守ることができ、単なる目撃者以上の愛着と一体感で心を満たすこともできる。

小さな虫一匹でも、自分と共に生きている実感を持つのだろう。けれども、ある時、突然に前ぶれもなくそれを失うこともあるということだ。

他人は、クモ一匹のことに執着してと笑うかも知れない。私は、姿の端正さと、野性の敏捷さとを合わせ持ち、観察し易い体格のコガネグモに心惹かれている。そして、彼女達が作り出す網の繊細なできばえに感嘆する。どのクモも、思いのほか早い動作で糸を操り出しせつせと網を張ってゆく。一本一本の糸が光を透かして見えかくれしながら、木々の間で揺れている様子は、これから網の中で営まれるクモの一日を想像して見飽きることがない。

雨の日にクモの網が作る神秘的な小世界に心ときめく人は多い。夕暮れ、長い一本道の片側の垣根にずらりと並んだ棚網を見たことがある。ほの暗い中に、そこだけ月光を受けとめたかのような清明な白が連なって、空気のなかへ漂い出ている感じがした。無数の水滴は、たどえようもない宝石の渦となって糸を飾り、緑の葉とのコントラストは「妙なる調和」そのものである。

少しばかり憂うつな雨の夕暮れ、誰がこんなに素晴らしいプレゼントを私にくれるだろうか、網の奥に潜んでいる小さなクモ達に向かって「ブラバー」と賞賛の拍手を贈った。

古い時代から、高貴の人の胸元や袖先を飾った複雑な模様のレース、それを見ると連想する。きっと昔から、女性達はクモの網や鳥の羽を見て、あるいは花々や草木のつる、木々の樹冠を見て編むことを発想し、より魅力的なレースデザインを創造してきたのではないだろうか。

太陽の輝き、月の満ち欠け、星の巡り、心をとらえる多様な美の表現は自然の中に溢れている。小さなクモも人間も、ふさわしい適性を持って生まれてくる。なかでも人間は超越した存在だから、小さな虫など指先のひとひねりで無にしてしまうこともできるが、簡単にそうはしないものだ。虫達をよく観察していると、この世に存在するどんな絵具を使っても描ききれないような色彩に出会う。色としてはもう分析されつくしているかも知れないが、太陽の下で光とともにそれを見るときには驚き、畏敬の念さえも覚える。

虫眼鏡でクモを見始めてから、周囲にいる虫にも眼を配るようになった。バラの蕾を食い荒らす憎きコガネムシも葉々にとりついてはいるカメムシ、テントウムシやアオムシさえも、観察するようになった。雑草の花の顔一つも興味深く、自然に対して心を開くということが解ってきた。

自分も、ヒト科動物ホモサピエンスとして地球上に、いくばくかの年月を生き、何らかの痕跡を残してゆくのだと思うと、ゆくりない出会いをした小さなクモを、仲間として慈しむ心を持つのは幸福な経験だと思う。

